



## ～今年度の校内教職員研修について紹介します！～

## 自立活動研修（6月9日 講師：特別支援教育総合センター東城 PT）



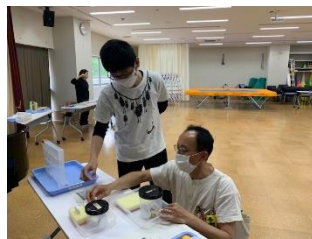
横浜市特別支援教育総合センター 東城 PT を講師として、講義と実技の研修を行いました。肢体不自由特別支援学校に通う子どもたちの身体についてや、教育活動だけでなく日常のさまざまな支援方法などについて、お話を聞くことができました。実技では、床から車いすへの移乗する際の支援方法を中心に、子どもたちの身体の動きと留意点について学びました。

## PT・OT 研修（講師：特別支援教育総合センター東城 PT 年間4回・堀井 OT 年間3回）



教員の資質と専門性の向上を図り、今後の指導支援を通して児童生徒に還元することを目標に、児童生徒一人ひとりの個に応じた指導法を学び、適切な指導と必要な支援を教員が行うことができるための研修を行いました。基本的な運動、動作能力の獲得や促進、日常生活動作の改善等、東城 PT・堀井 OT に直接アドバイスを受けることで、日々の指導に活かせる内容を学ぶことができました。

## 教材教具研修（4月28日・30日・5月1日）



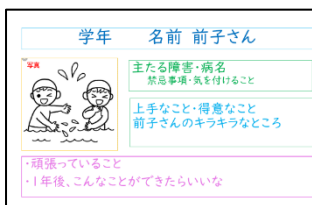
児童生徒の実態と課題に合った学習が進められるよう、自作教材やスイッチ教材を展示し、「教材教具」を作る目的や、作成のポイントを確認し合う研修を行いました、実際に教材を手に取り、製作した教員と話をしながら体験することで、教材づくりのアイデアや授業での活用方法、児童生徒の実態に合わせたアレンジの仕方など研修することができました。

## 緊急時対応シミュレーション（各学級 1回以上）



児童生徒の大きな怪我や救急搬送を伴う体調不良など、緊急時を想定したシミュレーションを行っています。各クラスで起こりうる緊急時を想定して計画し、対応を検討しています。また、緊急コールや他クラスからの応援体制など、学校全体で確認し、緊急時の対応をスムーズに行えるよう取り組みました。また、終了後は全体で振り返りを行い、各役割の担当者からの報告をもとに、多角的な視点から意見交換をすることができました。

## 児童生徒理解研修（7月14日）



児童生徒の障害等について互いに伝え合い、共通理解や情報共有を図ることを目的に研修を行いました。「障害名」「指導上の留意すべき点」「現在取り組んでいること」「今後の課題」などを中心に報告し合いました。また、特に力を入れたい指導のポイントを直接窓口担当教員から聞くことができるため、今後の指導方法について互いに考え、助言しあうことができるいい機会となりました。

## 人権研修（8月18日 講師：特別支援教育総合センター 相談員 松崎先生）



「人権研究で大事にすること」、「人権教育の本質」、「人権教育の視点で教師に求められること」、「子どもにとっての自立」等、多くの観点からお話をさせていただき、様々な視点があるのだと考える機会になりました。子どもの良さを見つけ自尊感情を育むこと、日々の指導を丁寧にすることが、教員一人ひとりが人権意識を向上していくために大切であることを学びました。

人工呼吸器に関する研修会等（全教員 4月～ 研修会、情報共有、課題洗い出し、検討委員会など）	
	「呼吸器を使用する児童生徒の安心安全な学校生活を目指して」というテーマを設定し、教職員でのラベルワーキング（校内で取り組むための情報共有と課題の洗い出し作業）を行い、それをもとに研修会やさらなる情報共有、関係部署が集まったの検討委員会などを重ねてきました。課題解決にあたっては、常に「どのようにすればできるか」という視点で取り組んでいます。
特別支援教育における ICT 活用（9月9日 講師：日本福祉大学 金森克浩先生）	
	「ICT 活用をするコツとポイント」や「肢体不自由児がコンピュータを操作する上での考え方」について、日本福祉大学の金森教授をお招きし、御講演と実技の研修を行いました。実際にタブレットを使用し、視線入力・スイッチ入力・タッチパネル入力を体験しました。さらに、タブレットの設定を変えることで個々の特性に応じて、より使いやすい機器になることが体験を通して実感でき、充実した研修でした。
防犯（不審者侵入への対策）研修（11月18日 講師：旭警察署 生活安全課職員 3名）	
	不審者侵入時の対応意識を高め、危機管理能力のスキルアップを図ることを目的に行いました。旭警察署の方に不審者役になってもらい、実際に不審者が校内に侵入したことを想定して訓練を行いました。訓練後には、撮影した動画を見ながら、不審者へどのように対応すべきかを検討しました。研修で学んだことをふまえて、非常時には全教員が連携して児童生徒の安全を守っていきます。
校内初任者研修（月1～2回）	
	教員としての資質・能力の育成をめざして様々な研修を行いました。「個別の教育支援計画・指導計画の作成」や「評価の仕方について」などを、各クラスリーダーを中心に研修を行いました。また、「姿勢と介助」「摂食指導」など指導・支援場面での子どもとの関わり方の方法、「授業づくり」「視聴覚・ICT 機器の活用」など学習に関することを、校内の担当教員が中心となり研修を行いました。
メンター研修（初任教員・2年目教員など）	
	メンター研修とは、先輩教員が初任者や経験の浅い教員を支援し、共に成長していくためのシステムのことです。その一つとして、研究授業後の研究協議会を実施しました。研究授業を参観した教員はアドバイス内容を付箋に書き、その付箋を使ったグループワークをして互いに学び合います。そして授業者はその内容から、次の授業づくりにつながる支援策を見出し、授業力の向上に日々努めています。
公開授業研究会（11月28日）	
	本研究会は、学習指導要領の改訂を受けて、授業力向上と授業改善を目的に実施しました。感染症対策をとりながら、参加された横浜市立学校の教員・指導主事・学校長とともに、午前中の授業 VTR を視聴した後、授業についてのディスカッションをしました。また、横浜国立大学の徳永教授をお招きし、学習指導要領改訂のポイントやこれからの教育活動について御講演いただき、実りある会になりました。

～学校評価アンケートにお答えいただく際のご参考にしてください。～